

2009年3月8日発行

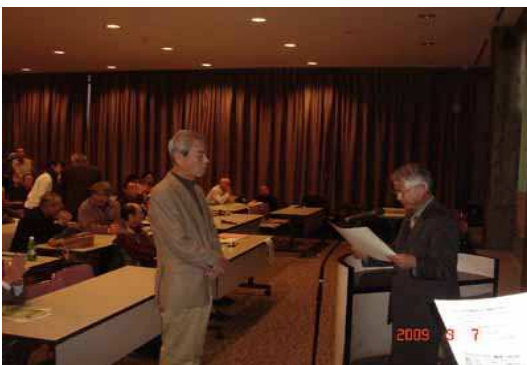
ありんこ 省エネ村 通信



ありんこソーラーマイレージ・クラブ

ソーラーマイレージ・クラブ全国大会がありました。

ありんこ省エネ村からはトップ20のなかに、2名入りました。



全国ランキング

7	名古屋キリスト教会	3,402
12	佐野さん	3,196

PV 非設置者の全国ランキング

宇部	岸田さん	2,580
宇部	村田さん	2,460
ありんこ	田中 A さん	1,695

ありんこ省エネ村の 1,000kg 超えのみなさん

1	名古屋キリスト教会	3,402
2	佐野さん	3,196
3	北川さん	2,801
4	鈴木さん	2,615
5	吉田 A さん	2,594
6	武田さん	2,201
7	斉藤さん	1,701
8	田中 A さん	1,695
9	荻野さん	1,506
10	金田さん	1,278
11	吉田 B さん	1,181
12	三浦さん	1,127
13	田中 B さん	1,093

なお、このソーラーマイレージランキングは、
本年1月末集計分までのランキングです。

※写真は、地域代表で表彰を受ける武田さんです。

今年度のまとめの時期、データ提出ありがとうございました。

目標	70世帯	36,666 (2月末で32,816) Kg-CO ₂ に対し、
	71世帯	31,204 (3月7日) Kg-CO ₂ 達成率 95%

エコハウスへの費用は、家への貯金

環境省環境政策局長
小林 光氏の講演

3月7日のマイレージクラブには5つの地域のがあつまり報告、パネル討論をしました。それに先立って、環境省の環境政策局長、小林 光氏がご自宅で実践されているエコハウスの取り組みや、世界・日本における温暖化対策の現状と展望、太陽光発電の役割の講演がありました。環境政策を第一線でつくっている方の話なので、短時間でも現状がわかりました。また、ご自宅に付けているソーラーパネルや、省エネのための工夫をこらした改築の話など、興味深く聞けました。「エコハウスへの費用は、家への貯金です。それを少しずつ使っています。投資としても、裏切られず、少しずつ返してもらってます。」と、言っていました。

ありんこソーラーマイレージクラブのまとめ

ありんこ省エネ村とPVネット中部地域交流会の共同でこのソーラーマイレージ事業を行ってきました。2008年度は太陽光発電設備設置世帯が36、未設置世帯が35世帯と半々でした。標準世帯の1人の年間排出CO₂に対して、どれだけ削減できるかというマイレージでしたので、世帯人数の少ない世帯、昼間も家に人がいる世帯に不利な部分がありました。そのため、マイナス（排出過多）になった世帯も多くありました。データを出して頂いたところにそれぞれのマイレージを添付しました。今後のエネルギーの使い方のご参考になればと思いますので、どうぞごらんください。

データを出し合うところがあるというのは、とても大事なこと

オール電化でふと、気がついたことあれこれ

今回この取り組みを通して個人の努力だけでなく、オール電化システムではCO₂削減にならない部分も多いことがわかりました。太陽光発電のシステムがあってもマイナスの家庭がいくつかあります。たとえばエコキュートの給湯器は深夜電力を使用し保温します。冬にずいぶんエネルギー使用が増えてしまいます。オール電化で太陽光発電しているのに、CO₂排出削減にならない場合など、エコキュートが深夜にエネルギーを多く使用していることが多いようです。こうした事例はソーラーマイレージクラブ全国大会（3月7日 東京にて）でも、他の地域からも同様の報告がありました。

太陽光発電設備のない世帯でも

太陽光発電設備のない世帯で2,287Kg-CO₂に達した世帯があります。4人家族で、二人のお子さんも、高校生、大学生ですが、エネルギーの無駄遣いもなく、じょうずに暮らしていえます。年間通じていいですが、特に12、1、2月にマイレージが貯まっています。同じ未設置世帯で、1,931マイレージが貯まった家も、冬に多く貯まっています。冬の過ごし方に、ポイントがあるようです。

太陽光発電設置のある家庭では

太陽光発電設置の家で世帯人数の多い家庭では、やはり、マイレージがたくさん、貯まりました。ありんこ省エネ村のNO.1は3,402マイレージです。次が3,196マイレージです。他に、マイレージが2,000以上

の世帯が他に、4世帯あります。この方たちも通年いいですが、4、5月が特にいい傾向にあります。発電量が多く、使用量が少ない時期だからと、思われます。

マイナスになる世帯は、冬に大きく減らしている傾向があります。エコキュートは寒い深夜にお湯を沸かし、保温しますから、多くの電力を使います。また、日照時間も少なくなるので、11月ころから落ち込む傾向があります。

2008年は『懐かしい暮らし方は未来を救う』キャンペーンをすすめてきました。

掃除機をほうきに持ち替え、すだれの活用をはかり（すだれ作りワークショップ）、夏は薄着で冬は重ね着でおしゃれをという生活、まきストーブの紹介や練炭や炭の利用もすすめました。エコハウス暮らし方交流会では、野草の生け花で生活を楽しくするワークショップもしました。また、省エネ電球の普及をすすめてきました。これが数字として具体的につかめなかったのですが、生活を見直すきっかけはつくってきたと思います。また、近隣でソーラーパネルを付けている家に、参加のお誘いに行ったのですが、発電量を確認していない家ばかりでした。買電量が使用量だと思っている家も多くありました。

太陽電池の1枚からの利用法では、発生電圧優位の電力を消費する工夫で、太陽光パネルの発電電圧が100Vを下まわると自動的に商用電源（電力会社）に切り替わる装置で、省エネをすすめる実験もしました。



この85Wのパネル1枚でパソコンを1日中動かして、日昼は0.5~0.6A×100V位かせぎますので、日照時間を1日4時間として、200~240W省エネをすることになります。

最後に太陽光発電の普及のための議論が、補助金や固定買取制度の話になりがちですが、ソーラーマイレージクラブの活動のようにデータを自ら記録し、データを出し合うところがあるというのは、とても大事なことで、省エネ行動に結びつけることは住宅用太陽光発電普及と発展の核心をなすものだとこの事業を通じてあらためて考えました。今期でこの事業は終わってしまいますが、機会があれば、ぜひまた全国ランキングに参加したいところです。

みなさんご協力ありがとうございました。

多治見の環境フェア2009

それから、3月8日（日）に多治見の環境フェア2009に参加しました。くもり空でソーラーグッズは残念でしたが、ありんこ省エネ村の活動やグリーン電力証書を紹介しました。新聞紙でつくるエコバックは大人気でした。メンバー自作の期待のソーラークッカーのお披露目は、次年度に持ち越しになりました。

省
エネ
技

窓ガラスに包装用のぷちぷちを張って、



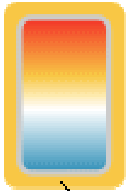
結露防止にもなります。

空気の層をつくることによって、断熱がはかられます。

5mmの厚さの空気層を窓ガラスにはると熱伝導は、72J（ジュール）で、 $72 \div 3000 \times 100 = 2.4\%$ **97%節約**

逃げ出す熱はガラスだと3000Wです。それが→ぷちぷちだと72Wだそうです。

電気温器の省エネ



グラスウール

さて、

夜間沸かしたお湯は電気ポット状態、“保温材でしっかり断熱でお湯の温度はほとんど下がりにくいです”“10時間たっても約5度程度の温度変化”ということですが、断熱がうまくいってなくてポカポカという方がみえて、自分で断熱シートを貼ったら、1か月に1万円以上電気代が安くなったと。ご自宅のタンクはいかがですか？いちど手をかざしてみてください。

ハウジング&リフォームあいち2009

太陽光発電と市民参加のグリーン電力証書

3月13日（金） 15:00~15:40

会場内セミナースペースB

3月13日~15日 10:00~17:00

吹上ホール（名古屋中小企業振興会館）

太陽光発電の国の補助金が復活しました。太陽光発電の自家消費分の環境価値をグリーン電力証書として活用する制度と、現在の愛知県の買取事業など制度的運用を図ろうとする社会的背景を紹介します。

ありんこ省エネ村&PV-Netも出展します。

見に来てください。

お手伝いの方、ぜひお願いします。

SOS

講師：NPO法人 太陽光発電所ネットワーク事務局長
都筑 建氏

主催：NPO法人 太陽光発電所ネットワーク

展示予定：グリーン電力証書のパネル
ソーラータウン、ソーラープラレール
小型水力発電の模型
省エネハウスの実験

ソーラーマイレージ・クラブの活動に2年間、ご協力いただきありがとうございました。ソーラーマイレージクラブ事業はこれで終了になりますが、ありんこ省エネ村および太陽光発電所ネットワークの活動は引き続きありますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。